



羅針盤 Vol. 2

創刊号では、公共施設（建築物）の約6割が建築後30年以上経過しているため、それらの整備が必要なこと、今後より一層高齢化が進み、超少子高齢型人口減少社会の到来が予想されることなどをお知らせしました。

本号では、公共施設等の維持・改修・建替えなどにどのくらいお金がかかるのか、財政の状況の見通し、そしてどのような取り組みをしているのか、についてお知らせします。

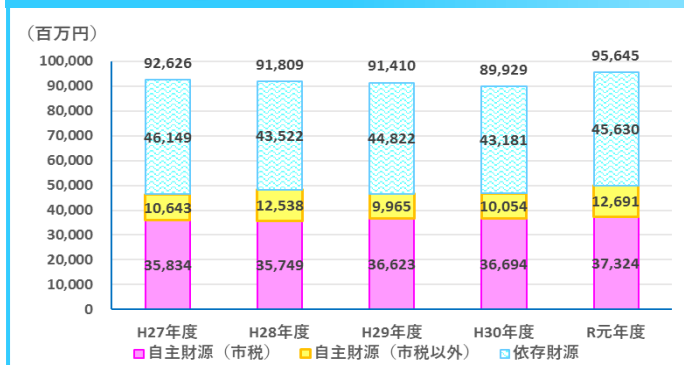
どのくらいお金がかかるの？

松本市が保有する公共施設等の改修・更新といった整備を行った場合、維持保全費用を含め、年間138.5億円の費用が必要になります。

ところが、実際整備にかけられる費用は年間110億円と、毎年28.5億円不足する見込みです。

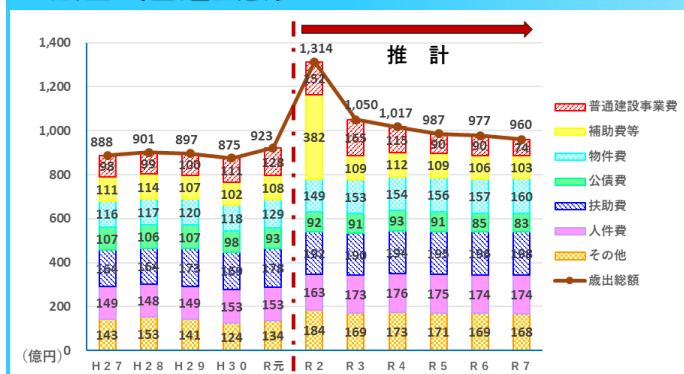
財政状況は？

歳入（普通会計）



過去5年間の歳入は、899億円から956億円で推移しています。うち、約50%が自主財源ですが、今後、生産年齢人口の減少が見込まれる中、市税など自主財源の伸びは期待できない状況で、なお一層財源の確保が厳しくなると予想されます。

歳出（普通会計）



歳出の性質別内訳をみると、扶助費が増加傾向にあり、今後、超少子高齢型人口減少社会の進展などにより、扶助費の増加が見込まれます。

将来の財政状況から、さらなる縮減を求められることも考えられます。

どんな取り組みをしているの？

持続可能な行財政運営と最適な施設配置の実現に向けて、令和 27 年度までに、公共施設（建築物）の長寿命化を行うとともに、施設総量 20%以上削減を目指しています。

基本方針と取組方針

量から質へ

変化するニーズをよりの確に把握し、それに見合った施設となるよう設備・機能面の質を高めます。

既存施設の有効活用

既存施設の長寿命化を図るとともに、人口減少やニーズの変化に対応するため、既存施設の用途変更など、更なる活用を進めます。

総量規制・総量削減

公共施設（建築物）の総量を定め、新規設置はその枠内で行い、既存施設の活用・統廃合により総量を削減します。

民間活力の導入

公共施設（建築物）の更新、維持管理・運営に当たって、民間の技術・ノウハウ・資金等を活用する新たな公民連携手法を導入します。

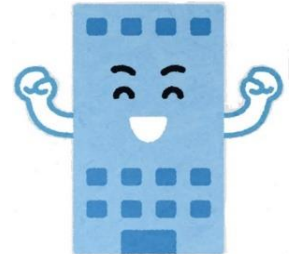
インフラ資産の長寿命化

既存の施設を長く大切に使えるよう、計画的な維持管理・更新を行い、安定したインフラ資産の維持を目指します。

インフラ資産の最適化

都市のコンパクト化と交通ネットワークの構築を進め、インフラ資産の効率化を図ります。

- ・ **長寿命化**：公共施設（建築物）の改修において、築 40 年を目途に長寿命化を行い、性能を維持向上させ、80 年間使用できるように取り組みます。
- ・ **総量削減**：人口減少に伴い、一人当たりの負担増加が見込まれることから、公共施設（建築物）の総量を削減することでコストを削減します。

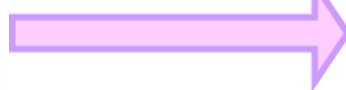


次号予告

松本市公共施設再配置計画及び先進他自治体では、どのような取り組みをしているのか、その実例などをお知らせします。



ご意見などはこちらへ



松本市 総務部
公共施設マネジメント課
〒390-8620
松本市丸の内 3 番 7 号
TEL : 0263-34-3282
E-mail : k-shisetsu@city.matsumoto.lg.jp